

視聴覚教育

移行措置最後の年

現職教育委員会学習情報部長

二村 邦彦

二十一世紀最初の年である平成十三年度がスタートして二か月余りが経過とじています。

眩しいほどの新緑の中で、各学校は目指す教育目標の達成に向け、着実にその歩みを進めてみえることと思います。

特に本年度は、新学習指導要領完全実施の前年度として、総合的な学習の時間の選択履修の枠拡大等、十四年度の完全実施に向け、それぞれの学校で創意と工夫に満ちた実践が昨年度以上に進められています。学習の基礎基本の定着を目指すと共に、子供たちが意欲的に、しかも主体的に取り組む学習の研究や実践が進められていることと思います。

本年度、学習情報部は目まぐるしく推移する高度情報通信社会に対応していくために、研究主題を「高度情報通信社会に対応する学校での

NO. 272
 発行日 13.5.18
 発行 岡崎市AVL
 編集 現職教育委員会
 学習情報部

視聴覚用語「非対称」(非対称)は、視聴覚教育のあり方を追究しようとし、教育活動全ての場で情報メディアの活用を通して子供たちに生きる力をつけていこうと考えています。

新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しようとし、教育活動全ての場で情報メディアの活用を通して子供たちに生きる力をつけていこうと考えています。

私たち教師は、子供たちの生涯にわたっての学習の基盤である基礎・基本を身につけさせると同時に、激変する社会に対応できる力(情報活用能力)を身につけさせなければなりません。そのため、何といつても教師の指導力の向上に向け、たゆみない努力をしなければなりません。文部科学省は、平成十三年度までには、全ての公立学校の教師がパソコン操作ができることを目標にしています。

学習情報部も毎年開催している教師のためのパソコン講習会を六月に、また、夏季実技講習会ではホームページ作成・システム管理、VTR実技講習会など、数々の講習会を開催します。先生方の積極的なご参加をいただき、日々の実践に生かしてくださることを願います。



視聴覚教育あれこれ 平成十三年度 学習情報部活動方針決定!

研究主題

高度情報通信社会に対応する学校での新しい視聴覚・情報教育のあり方を追究しよう

研究の重点

- ① 学習メディアの効果的な活用法の研究
- ② パソコンの効果的活用法の研究
- ③ 校内ネットワークの環境整備と活用法の研究
- ④ 岡崎教育ネットワークの環境整備と活用法の研究
- ⑤ 市自作ビデオの活用促進と学校独自の視聴覚教材の制作
- ⑥ 視聴覚教室やパソコン教室の総合的な管理・運営方法の工夫
- ⑦ 教育チャンネルや校内放送の活用法の研究

学習情報部組織

部長

二村 邦彦 (矢作中長)

高木 和広 (井田小長)

丹沢 英喜 (常磐小長)

担当指導主事

内田 義和 (教育委員会指導課)

指導員

名倉 嘉章 (六南小)

小川 規博 (羽根小)

【視聴覚主任会】

世話係

内藤 法雄 (大門小)

本間 茂夫 (山中小)

佐渡 英彰 (竜海中)

中根 浩智 (北中)

各部世話係

〔広報〕

島田 繁直 (竜美丘)

本間 茂夫 (山中小)

〔研修〕

中根 浩智 (北中)

河合 泰宏 (井田小)

〔自作〕

岡 秀之 (六北中)

松坂 禎文 (矢北中)

〔教科〕

柴田 淳一郎 (六南小)

村田 貴志 (甲山中)

【情報教育主任会】

世話係

杉浦 正明 (藤川小)

川本 祐二 (小豆坂)

小田 哲也 (竜南中)

寛 哲也 (甲山中)

各部世話係

〔研修〕

寛 哲也 (甲山中)

近藤 雄一 (羽根小)

小田 哲也 (竜南中)

小西 博 (美川中)

〔実践〕

杉浦 正明 (藤川小)

小西 博 (美川中)

竹内 昭博 (南中)

〔開発〕

伊藤 研治 (六美中)

川本 祐二 (小豆坂)

〔広報部〕

杉山 康子 (竜美丘)

鈴木 玲子 (恵田小)

■ライブラリー職員

所長

藤井 孝弘 (教育長)

副所長

鈴木 省吾

副所長代理

宮田 典彦

職員

服部 光晴

太田ますみ

森田 結子

|| レッツ・トライ ||

・放送教育全国大会

七月三十一日・八月一日 東京

・三教研自作教材研究会

八月八日 小坂井町

・愛知県放送教育特別研究会

(東海北陸地区)

放送教育研究会

八月二十一日 名古屋

・藤川小学校研究発表会

十月三十日

・視聴覚教育総合全国大会

十一月二十一日・二十二日 仙台

* 本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。ぜひご参加ください。

ライブラリーだより

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、視聴覚に関してみなさんをサポートしております。ご相談・利用をお願いいたします。

●教材などの配達・回収サービス

十六ミリ映画、購入・寄贈によるビデオ・レーザーディスク教材を希望する小・中学校・園に配達・回収を行っています。毎週火曜日に配達翌週の月曜日に回収に伺います。必ず電話で予約の上、お申し込みください。

また、「視聴覚機器・教材目録」、「視聴覚教材・機器利用の手引き」をご覧ください。

●ビデオ教材のダビングサービス

ライブラリーでは、制作した自作ビデオ番組やビデオ映像ラッシュ、行事記録等のダビングを行っています。お手持ちのビデオテープの背に「番組名」と「学校名」を記入の上、送付ください。原則として1番組1本のテープでお願いいたします。(テープの種類は問いません)

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第6集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。全教職員に配布しました。ご利用ください。